

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（1 / 5 ページ）

種目(教科等)【 国語 】

項目	教科書名(新編 新しい国語) 会社名(東 書)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○各領域とも、日常生活・社会生活につながり、生徒が主体的・協働的に取り組める課題解決的な言語活動が示されている。</p> <p>○「基礎編」の「学びを支える言葉の力」では、本編との関連を図りながら基礎的な「言葉の力」と思考力、判断力、表現力を養うことに力点が置かれている。</p> <p>○古典教材では、作品のあらすじや歴史的背景、作者や作品に関する解説の文章が図版等とともに掲載されており、国語に対する認識を深めるようになっている。</p>
特色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○「本編」では、各学習材で身につけたいポイントが「言葉の力」として明示され、日常生活に通底する基礎的な力を習得する課題設定がなされている。</p> <p>○「基礎編」の「学びを支える言葉の力」「文法解説」において基礎的・基本的な知識・技能を活用することにより螺旋的に習得できるよう構成されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習材では、活動過程の具体例や完成作品例が示され、思考力・表現力を支援する工夫がなされている。</p> <p>○「読むこと」の学習材では、「考えを深める」で、自分の考えを書いたり、感想を発表しあったりする言語活動が設定されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「領域別学習材一覧」に学習目標やその学習材で身につけたい「言葉の力」が示され、生徒が見通しをもつことができるようになっている。</p> <p>○キャラクターの使用やゲーム性の高い文法学習材等により、生徒の学習意欲を高める工夫がされている。</p> <p><言語感覚を豊かにする工夫></p> <p>○「資料編」の「言葉を広げよう」において、3学年で1412の言葉が例文つきで示されている。「広がる言葉」では、文章に関連ある言葉が掲載されている。</p> <p><国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる工夫></p> <p>○優れた古典作品や近代詩、近代文学の名作が、写真資料と共に掲載されており、伝統的な言語文化を尊重し継承するよう設定されている。</p>
	<p>資 料</p> <p>○「資料編」には、「発想・整理の方法」「取材の仕方」「話し合いの方法」など、本編の学習で生きる「話すこと・聞くこと」の学習資料が精選されている。</p> <p>○各学年3カ所の「読書」や「資料編」において、読書案内や読書活動が取り上げられている。3学年で305冊の本が紹介されている。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○本文書体は、小学校の教科書で使用されている教科書体に近い字体を使用し、脚注欄等の小さい文字は、ゴシック体になっており、読みやすい配慮がされている。</p> <p>○特別支援教育やカラーユニバーサルデザインの観点から、デザイン、配色、配置に配慮し、重要な部分の判別がしやすいよう、工夫されている。</p>
総括	<p>○「本編(7単元)」「基礎編」「資料編」の3部構成である。巻頭や巻末、単元の中に3年間の学習内容の関連について示され、生徒自身が見通しを持って学習できる。特に「言葉の力」について段階的に積み上げる課題設定がされている。</p>

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（2 / 5 ページ）

種目(教科等)【国語】

項目	教科書名(中学校国語) 会社名(学 図)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○「必修教材1」「必修教材」「選択教材」「発見する読み」のように基礎から段階を踏んで学習が進められるように教材が配置されている。</p> <p>○単元の終わりで身に付けた力を「ついた力を確かめよう」で自己評価ができるような工夫がされている。</p> <p>○古典の学習の導入において、作品等の現代に受け継がれている普遍的な価値について考えさせる説明があり、国語に対する認識を深めるようになっている。</p>
特色	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫＞</p> <p>○「読むこと」では、「学びの窓」を配置し、学習の仕方を学んだり定着した力を振り返ったりすることができる設定になっている。</p> <p>○「読むこと」の学習内容を「話すこと・聞くこと」「書くこと」の表現活動につなげるため、コラム「活動を考える」を導入的に設けている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○「必修教材2」「選択教材」では、「学びの窓」に設定された交流をはじめとする様々な活動が示されている。</p> <p>○教材の最後の「学びの窓」では、読み深めるための小発問を提示することで、段階を踏んで読み取りが進められる設定になっている。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○各単元の扉に示された目標や「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材で示された「学習の見通し」により見通しをもって学習できる工夫がなされている。</p> <p>○巻頭に「言葉」をテーマにした文章を載せている。また、「この教科書を使うあなたへ」として、学習のめあてをつかませるための例示がされている。</p> <p>＜言語感覚を豊かにする工夫＞</p> <p>○古典の学習では「音読・暗唱」の活動が設定されている。また、文字・漢字文化に位置づけて漢字を学ぶコラムを設けるといった工夫がされている。</p> <p>＜国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる工夫＞</p> <p>○古典読書のコラムを用意し、古典が今へとつながっていることを意識させる近代の文語文を載せるなどの工夫がされている。</p>
	<p>資料</p> <p>○巻末に言語の学習として、「古典文法」「今に伝わる注意したい古語」「注意すべき筆順」「口語・文語活用対照表」が掲載されている。</p> <p>○各学年の「〇〇を見抜く」では、漢字や語句に興味をもつようになっている。また、領域や目次などが、共通した色で示されている。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○1・2年生では、脚注に新出漢字に加え、小学校6年生で学んだ漢字も示され、定着を図るための工夫がなされている。</p> <p>○全学年統一されたマークや配色、字体の工夫などによって、紙面が見やすく構成されている。</p>
総括	<p>○5つの単元と2つの読書、言語の学習で構成されている。「読むこと」の学習では、「習得」「活用」「探求」の3つの段階が示されている。単元ごとに「ついた力を確かめよう」で、学習の成果を確認する設定になっている。</p>

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（3 / 5 ページ）

種目(教科等)【国語】

項目	教科書名（ 現代の国語 ） 会社名（ 三省堂 ）	
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○「書くこと」に関する課題が幅広く設定されており、国語を適切に表現する力を育むための工夫がなされている。</p> <p>○教材の脚注や巻末の資料編など、多彩な表現がちりばめられ、生徒の言語感覚を豊かにする工夫がなされている。</p> <p>○代表的な古典作品が取り上げられ、その時代を生きた人々のものの見方、考え方、伝統的な言語文化などにも着目し学習を進められるように構成されている。</p>	
特色	<p>特 内 容</p>	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫＞</p> <p>○巻頭の部分に領域別教材一覧が示され、教材ごとにつけさせたい力が明示されている。</p> <p>○挿絵や図、コラムなども効果的に用いられ、学習を進めるきっかけ作りになるとともに、理解を深めるための手助けになっている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○「学びの道しるべ」では、分かりやすい言葉で学習の視点が示され、何を目標にして学びを深めていくのかが明確になっている。</p> <p>○古典の学習においてその当時の人々の心情や状況などをふまえ、「書く」課題と関連のある課題が設定されている。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○教科書の端々に写真・挿絵などが有効に使われ、主体的に活動ができるよう工夫されている。</p> <p>○巻末の資料編では、写真や図が多く取り入れられ、国語の学習以外にも他教科の学習や生活の様々な場面で活用できるように構成されている。</p> <p>＜言語感覚を豊かにする工夫＞</p> <p>○1・2年生で「話すこと・聞くこと」の基本技能を学び、3年生では「企画会議」や問いをもとに語り合う「ワールド・カフェ」等発展的な内容を扱っている。</p> <p>＜国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる工夫＞</p> <p>○伝統的な言語文化との関わりとして、代表的な古典教材が取り上げられ、歴史的な表現から時代背景に至るまで踏み込んで指導できるよう工夫されている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○巻末の資料編は沢山の分量があり、学習を幅広く捉えるために興味深い資料が数多く掲載されている。</p> <p>○巻末に「読書の広場」「考える広場」「参考資料」が掲載され、補充学習のできる教材が配置されている。</p>
	<p>表 記 ・ 表 現</p>	<p>○教材ごとに新出漢字や慣用句など、見やすくわかりやすい表記・表現がなされている。</p> <p>○語彙力拡充のため、巻末に「学習用語辞典」をまとめて示し、教材の中の用語の意味が詳しく解説されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○1・2年生が7単元、3年生は6単元で構成されている。バリアフリーや漫画、アニメ、落語などからひもとく文化論など、生徒が興味をもちそうな教材が取り上げられ、読書においても各学年50冊以上の推薦図書が示されている。</p>	

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（4 / 5 ページ）

種目(教科等)【国 語】

項 目	教科書名(伝え合う言葉 中学国語) 会社名(教 出)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○国語学習としての習得・活用にとどまらず、対話力の育成や日常生活や他教科の学習にも生かせるようになっている。</p> <p>○1年間の学習を学習指導要領の学習過程をふまえながら、言語能力の観点から3領域1事項の教材を組み合わせた単元で構成している。</p> <p>○日本の古典文学を代表する作品を取り上げ、視覚資料も充実しており、コラム教材を設定するなど多様な教材化がなされている。</p>
特色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○各領域とも幅広い言語活動を通して、基礎的・基本的な能力や思考力・判断力・表現力を育成することができるように、系統的な単元構成・内容となっている。</p> <p>○漢字学習の確実な定着をはかるため「読むこと」教材「漢字の広場」「漢字の練習」の3つの場に配当して学習するようになっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○学習のポイントをまとめたコラム「ここが大事」が設定されていたり、表現領域や言語教材との関連、関連図書の紹介を示したりする等の工夫がされている。</p> <p>○1年間で言葉の力が高まる単元構成で、学習プロセスをおさえた活動展開や学習の重点化により、段階的に思考力・判断力・表現力が高まるようになっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○課題を発見し、自分で考え、解決するという課題解決の道筋にそって学習が進められるように「学習の手引き（みちしるべ）」が構成されている。</p> <p>○活用力を高めるための「学びのチャレンジ」が巻末にあり、学習の振り返りとさまざまな言語活動ができるようになっている。</p> <p><言語感覚を豊かにする工夫></p> <p>○四季折々にまつわる短歌、俳句、四季の言葉を「四季のたより」で紹介し、作品を通して季節感を味わえるような工夫がされている。</p> <p><国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる工夫></p> <p>○巻末には、全学年に「古典作品」「伝統芸能」「受け継ぎ、伝える言葉」の資料と、各学年に「百人一首」「古典文学史」「近代文学史」が折り込まれている。</p>
	<p>資 料</p> <p>○「読むこと」教材に関連する図書や、読書コラムでテーマに沿った図書を「読んでみよう」で紹介し読書活動を広げ、近代の文学に親しむ工夫がされている。</p> <p>○巻末資料に補充教材や読書案内、原稿用紙の使い方、アイデアの出し方等「言葉の自習室」が付録としてあり様々な場面で役立つ知識が掲載されている。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○文字の大きさが生徒の発達段階に応じて考慮されていたり、本文の下段の行数表示が一行ごとに「・」で記されわかりやすくなっていたりと工夫がされている。</p> <p>○特別支援教育やカラーユニバーサルデザインに対応した配色やレイアウト、表現方法などの工夫がされている。</p>
総 括	<p>○1・2年生が8単元、3年生は7単元で構成され、1年生には中学への導入単元が、3年生には7単元目に送り出し単元が設定されている。また多様な情報に関連づけて考え、日本の伝統的言語文化を継承する心の育成が重視されている。</p>

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（5 / 5 ページ）

種目(教科等)【 国語 】

項目	教科書名(国語) 会社名(光村)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○文章を読解・理解する教材と基礎的・基本的な知識技能、表現の教材がバランスよく配分されている。</p> <p>○発達段階を踏まえた学年に応じた習得と発展学習がなされることにより、国語力が高められるような系統性をもった構成がなされている。</p> <p>○古典の学習については、現代語訳の併記について様々な方法を取り、古典学習を深めていく工夫がなされている。</p>
特色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○教材ごとの新出漢字のまとめに加えて「漢字を確認しよう」で、学びやすく簡単に漢字への意識を持たせられるという工夫がなされている。</p> <p>○「学習のための用語一覧」や「次へつなげよう」などで、各学年に応じた学習内容が明確になっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「説明文・論説文・評論文」「自然科学」などの教材を学ぶことを通して、自らの考えを豊かに表現できる構成になっている。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」で学習者同士の学びあいが設けられ、伝え合う力を身につけられるようになっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「目標」や「学習の窓」に加えて「学習を振り返る」の項目が加えられ、学習後の達成感を得られやすいという工夫がなされている。</p> <p>○「〇〇的な文章を読むために」という内容により、生徒自らが学習の方向性をつかめるような工夫がなされている。</p> <p><言語感覚を豊かにする工夫></p> <p>○巻末の「感想を表す言葉」「感情を表す言葉」「抽象的な言葉」や「季節のしおり」で言葉への関心を高める工夫がなされている。</p> <p><国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる工夫></p> <p>○1年生の段階で基礎的な古文・漢文の知識が整理され、学ぶべきことがわかりやすく、様々な古典作品に興味をもつよう工夫されている。</p>
	<p>資料</p> <p>○巻頭の「学習の見通しをもとう」という領域別の一覧表で、各領域と学習のポイントを関連づけて示している。</p> <p>○巻末に豊富に用意されている資料が、内容によって適切に分類され学習しやすいように工夫されている。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○本文と脚注欄の幅のバランスを考慮し、視覚的に見やすい構成で語句の解説や注意する語句が示されている。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」のページでの太字の字体と色の使い方・段の組み方が工夫され、目標や学習内容が明確に示されている。</p>
総括	<p>○全学年7単元と「文法/漢字に親しもう」「学習を広げる」で構成されている。重視されている「音声表現」や他の教科や総合学習での鑑賞・レポート作成等との連携を意識した構成になっている。</p>

